

# 長崎支部の保健事業について

～働き盛り世代の突然死を防ぐ～ 第3期データヘルス計画(案)

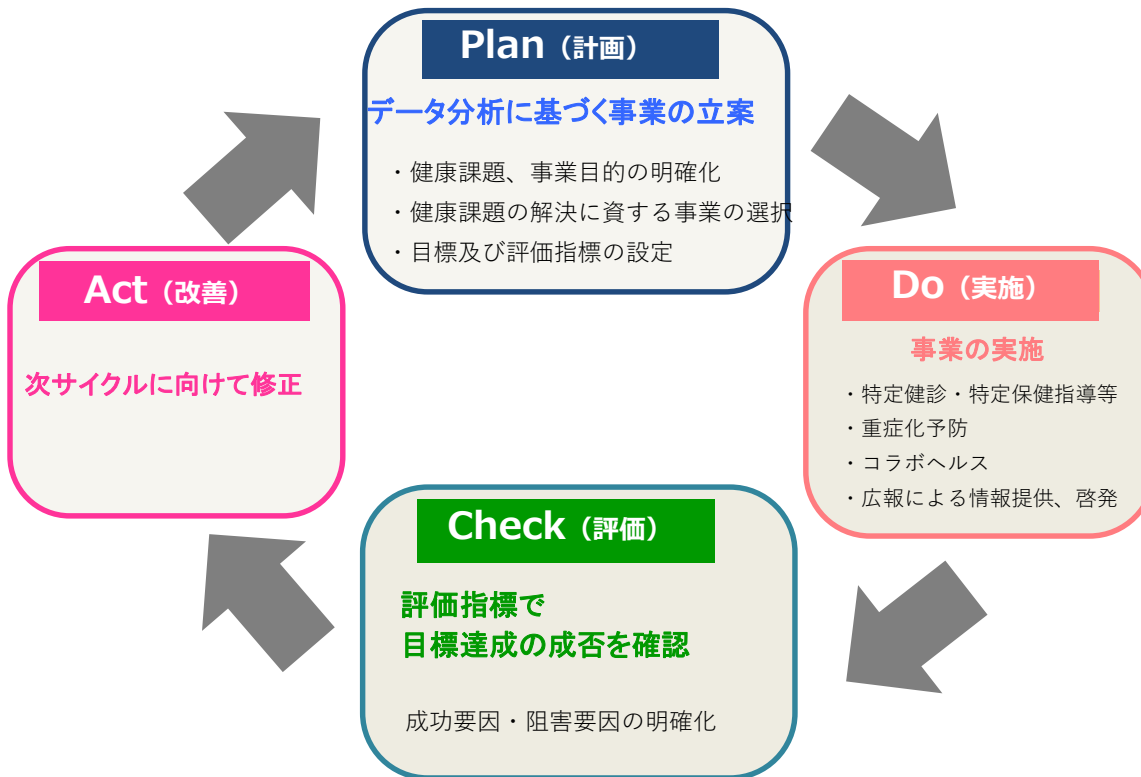


協会けんぽ 長崎支部キャラクター  
「尾まがり猫家族」



# 1. データヘルス計画に基づく協会けんぽの保健事業

データヘルス計画とは、レセプト（医療情報）や健診結果などのデータに基づいて、効果的・効率的に保健事業に取り組む事業計画のこと。



**NG**  
手探り、従来通り…

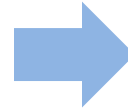
- 第1期：平成27年度～平成29年度
- 第2期：平成30年度～令和5年度
- 第3期：令和6年度～令和11年度

「日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）」において、全ての医療保険者に「データヘルス計画の作成・公表・事業実施・評価等の取り組みを求める」ことを掲げている

## 2-1. 第2期データヘルス計画 平成30年度～令和5年度

### <長崎支部の健康課題>

- 高血圧性疾患の受療率が高く、一人当たり医療費が高額
- 空腹時血糖が高い者の割合が増加傾向
- 男性の喫煙者の割合が高い
- 20歳から10キロ以上体重増加した者が多い
- 初診で心臓カテーテル検査を実施した患者のうち健診未受診者は半数以上…など



- ・ 悪くなるまで受診しない
- ・ 糖尿病や高血圧に起因する脳・心血管障害や慢性腎臓病（人工透析）が大きな問題
- ・ 医療費の問題だけではなく、社会的損失や加入者のQOLに影響

### <上位目標：10年後を見据えた目標>

#### 働き盛り世代の突然死を防ぐ

～35歳以上の被保険者の虚血性心疾患発症率を平成28年度0.06%から0.05%に改善させる～

### <中位目標：6年後を見据えた目標>

- ① II度以上高血圧の対象者の割合を改善させる
- ② LDLコレステロール180mg/dl以上の割合を改善させる

重点的に取り組む保健事業

### <上位目標や中位目標を達成するための下位目標>

- 特定健診受診率向上： 特定健診の受診率を65%にする。
- 特定保健指導実施率向上： 特定保健指導実施率35%にする。
- 重症化予防： II度以上高血圧の対象者の収縮期血圧平均値を下げる  
LDLコレステロール180mg/dl以上の割合を下げる
- 「健康経営」宣言事業の普及啓発：「健康経営」宣言事業所を1,000社へ増やす

## 2-2. 第2期データヘルス計画

～「働き盛り世代の突然死を防ぐ」取り組みを通じて～

### ●成果

- ・事業所や長崎県との連携によるコラボヘルスや、健診機関との連携による受診機会の拡大および保健指導の利用機会の拡大等により、確実に健診受診率・保健指導実施率は向上してきた。
- ・健診受診率が向上したことにより、協会けんぽ加入者の健康状態の全体像が見えてきた。また、介入できる加入者が増加した。
- ・保健指導については、「量」を拡大しつつ「質」を向上させるため、継続的に人材育成に取り組むことで、効果的な保健指導が実施できるようになってきた。
- ・様々な機会を活用した広報活動も「健康経営」「健診受診」「健康づくり」などのキーワードを浸透させ、行動変容を促す後押しになった。
- ・「働き盛り世代の突然死を防ぐ」ための取り組みを通じて、様々な関係機関や団体等と「顔の見える関係」が構築できたことは、今後の事業展開に大きな力となる。

### ●データヘルス計画の進捗状況 「働き盛り世代の突然死を防ぐ」

- 上位目標（評価指標 → “35歳以上の被保険者の心臓カテーテル検査”と“初診”の両方のコードを含むレセプト割合）

レセプト割合は、0.05% ⇒ 0.04% 減少傾向。発症者の人数も減少傾向

※新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検査控え等の影響も考えられることから、今後の動向を注視していく

- 中位目標（評価指標 → Ⅱ度高血圧割合の減少）

R2年度6.0%から **R3年度5.4%に減少**（目標の5.0%には届かず・・・）

- 中位目標（評価指標 → LDLコレステロール180mmHg以上の割合の減少）

高LDL-C割合は、4.2% ⇒ 4.7%（目標の4.0%には届かず・・・）



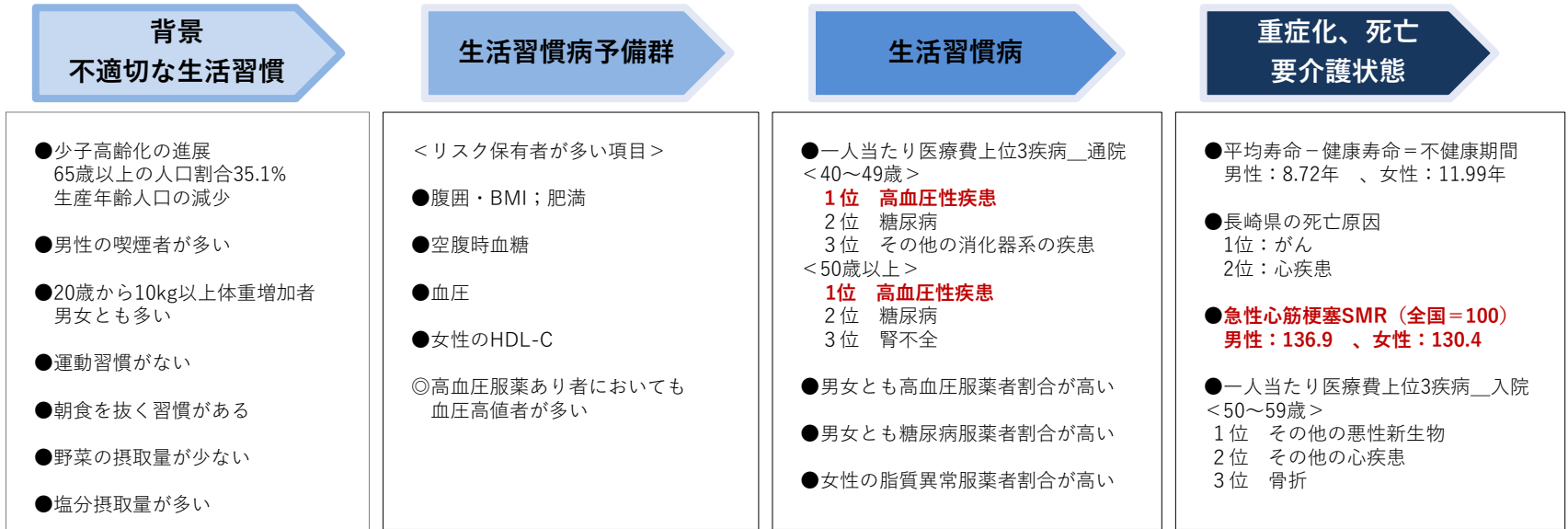
# 3-1. 第3期データヘルス計画 令和6年度～令和11年度

<10年後以降に達成する目標>

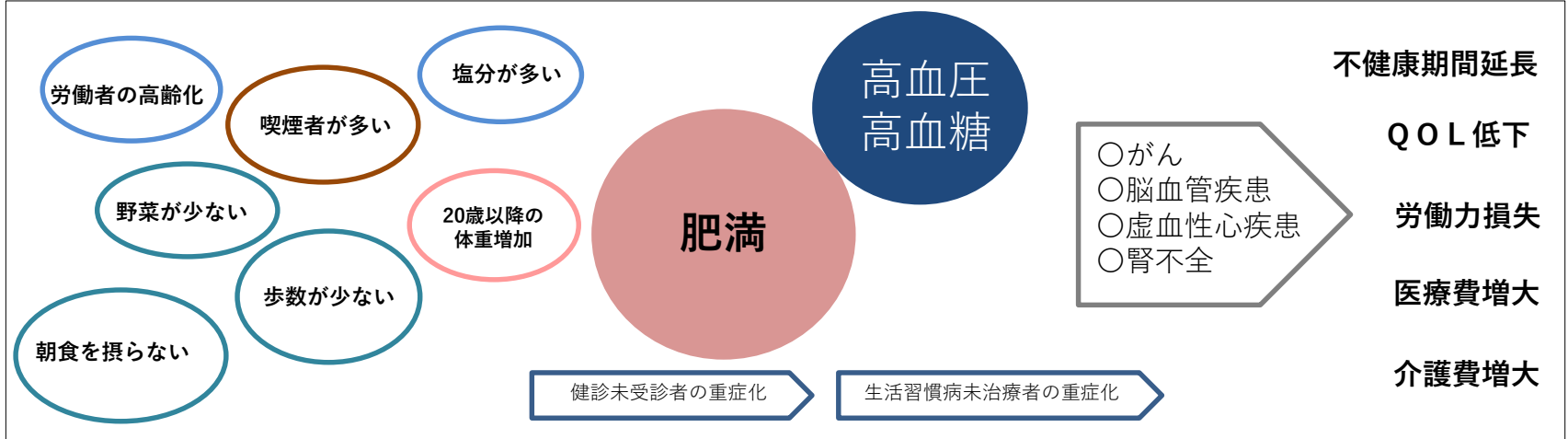
働き盛り世代の突然死を防ぐ ～心筋梗塞発症率の減少を目指して～

<6年後に達成する目標>

高血圧（Ⅱ度以上）該当者割合の減少 5.4%⇒4.8%



健康課題



## 3-2. 第3期データヘルス計画 令和6年度～令和11年度

### 目標達成のための重要評価指標\_7つのKPI

項目			R6	R7	R8	R9	R10	R11	最終目標	重点的に介入する職域・地域	
①	特定健康診査	本人	生活習慣病予防健診実施率	65.0%	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%	長崎支部加入者に占める割合が高く、生活習慣病リスク保有寄与度の高い業種  「医療業・保健衛生」 「社会保険・社会福祉・介護事業」 「総合工事業」	
		本人	事業者健診データ取得率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%		70.0%
	扶養者	特定健診実施率	29.0%	29.2%	29.4%	29.6%	29.8%	30.0%	特定健診対象者が多く実施率の低い地域  「長崎市」「佐世保市」「大村市」		
④	特定保健指導	本人	特定保健指導実施率	29.9%	31.5%	32.5%	33.5%	34.2%	35.3%	生活習慣病リスク保有寄与度の高く、特定保健指導対象者が多い業種  「道路貨物業」「その他運輸業」「総合工事業」	
		扶養者	特定保健指導実施率	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%		特定保健指導対象者が100人以上の地域  「長崎市」「佐世保市」「諫早市」「大村市」
⑤			特定保健指導実施率	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%	28.7%		
⑥			重症化予防 (生活習慣病未治療者の受診率)	32.5%	33.0%	33.5%	34.0%	34.5%	35.0%	35.0%	生活習慣病未治療者の多い業種  「その他運輸業」「道路貨物運送業」「総合工事業」
⑦			コラボヘルス	1,280	単年度ごとに目標設定						○高齢化の進展など健康リスクが高い業種 「道路貨物運送業」「その他の運輸業」  ○「健康経営」宣言事業所の喫煙対策

# (参考) データヘルス計画に基づく協会けんぽの保健事業

「働き盛り世代の突然死を減らす」～目標達成に向けて～

- ㊦ 特定健診受診率向上： 特定健診の受診率を70%にする。
- ㊦ 特定保健指導実施率向上： 特定保健指導実施率35%にする。
- ㊦ 重症化予防：生活習慣病未治療者の受診率を35.0%にする。
- ㊦ 「健康経営」宣言事業の普及啓発：「健康経営」宣言事業所増やす（R6：1,280社）

